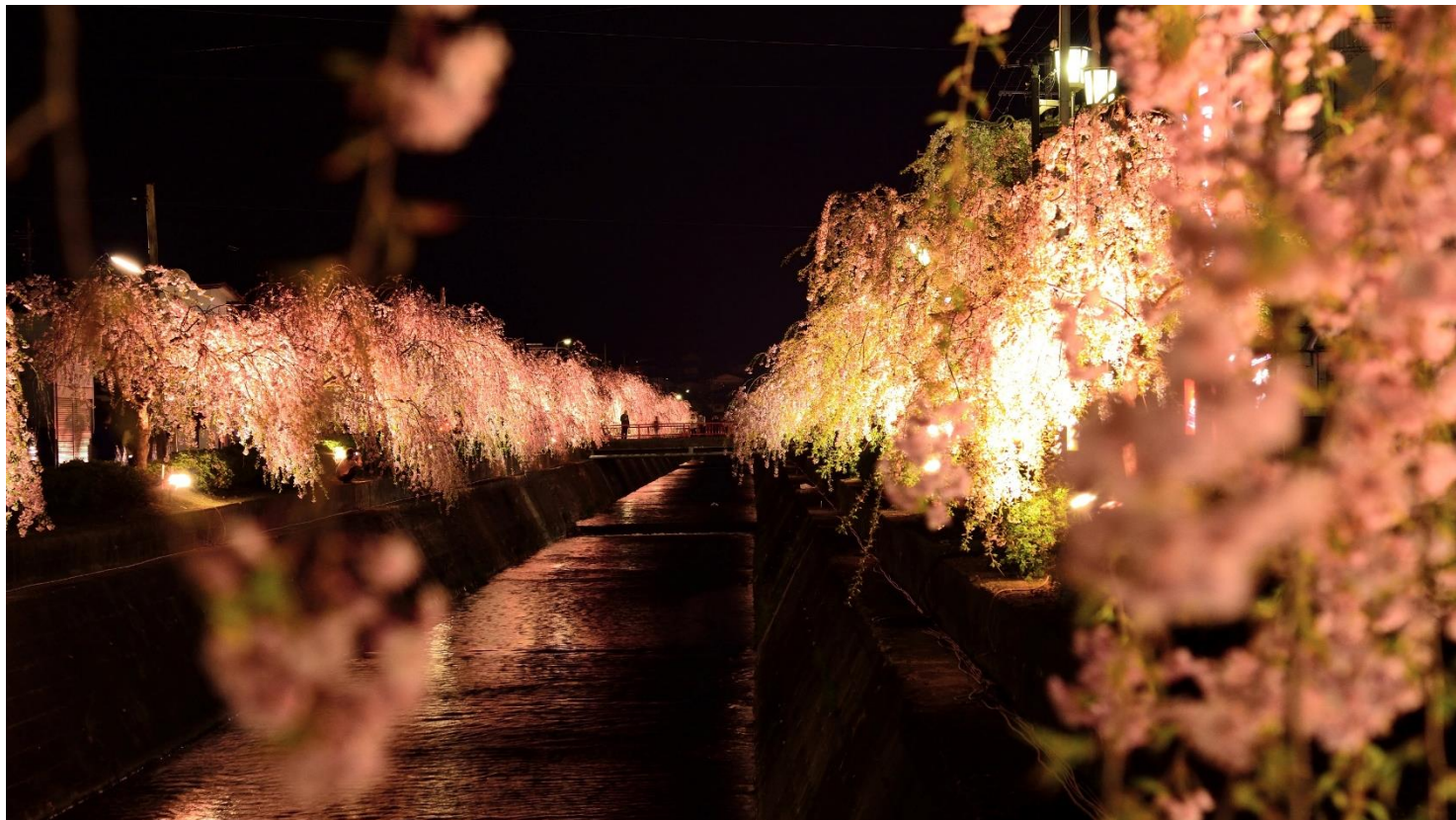


# さくら物語 夢の桜街道®

Members magazine 2019 vol.21



題字：原田桂風 <21年度山形県総合書道展「山形県教育委員会賞」受賞者>  
表紙写真：倉津川の枝垂れ桜 撮影場所：山形県天童市 提供：天童市

## 美しい山形・最上川フォーラム事業について

美しい山形・最上川フォーラム会長  
柴田 洋雄

平成最後の年となりました30年度の活動について会員の皆さまへご挨拶をさせていただきます。

平成14年度から実施している「身近な川や水辺の健康診断」は県内4地区、置賜17団体、村山31団体、最上15団体、庄内19団体、県内合計参加人数1,056名に調査をしていただきました。県内一円において川や水辺の健康診断が行われていることは素晴らしいことです。調査結果は1枚の河川地図上にまとめ、「水辺水質マップ」としてフォーラムホームページ上に掲載します。実施に参加した小学校へは、総合学習等の参考としていただけるようリーダーチャートを作成し、送付します。

また、ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」は平成25年度から継続して、海岸漂着物問題対策の普及啓発として、スポGOMI大会を県内各地で25大会実施しました。「身近な川や水辺の健康診断」に参加した小・中・高校生等の8団体に対して出張講座も実施しました。

フォーラムの活動理念の一つである水環境の維持・改善について、県内一円において小・中・高校生を含む将来を担う若い方々とともに、持続可能な活動として継続していきたいと思っています。平成30年度活動の決算報告の際に監査を担当されている監事より「今後の事業遂行において予算不足による課題を指摘」されました。フォーラムの活動を持続可能とするための解決方法を運営委員の皆さんと共に検討する必要があります。



2018年(平成30年)2月12日、「最上川流域における長井の町場景観」が、重要文化的景観に選定されました。市街地の東側を南から北へ最上川が流れ、江戸時代には最上川舟運の船着場が設置され、最上流部の終着港として栄えた長井市。かつて、青苧や紅花、米が流通し、人々がにぎやかに行き交った面影を今も残し、貴重な建築物や文化を大切に守り残しながら、現代の動きも取り入れ、活発に活動している場所—そんな長井市の昔と今を、地域の目線から話してもらいました。



話し手：美しい山形・最上川フォーラム置賜地域部会部会長 久保 道典  
(水辺のわらしっこ広場会長、豊田地区ふるさと振興会地域開発部  
会長、長井市かわまちづくり推進協議会かわ部会長)

美しい山形・最上川フォーラム置賜地域部会副部会長 齋藤 真知子  
(レインボープラン消費環境部会長、長井市消費生活者の会会長、  
置賜地域地球温暖化対策協議会副会長)

聞き手：美しい山形・最上川フォーラム事務局

事：長井と言えば、「水と緑と花のまちながい」の表現通り、水と自然に恵まれ、また歴史と文化の町という印象が強いのですが、地元の方から見た長井の魅力とは？

久保(以下敬称略)：中に住んでいるとなかなか足元が見えない。高校を出てから、千葉の習志野にいたが、川がないよね、山がないから。山が見えない落ち着かなさがあった。いったん外に出たからこそ気がつく自然の素晴らしさがここにはある。町中は野川が流れているが、子ども時代は白川水系で、その頃は揚水がなく、田んぼの水用に小川、ため池が巡らされていて、そういうところで育った。久しぶりに帰ってきて全部コンクリートの水路で、田んぼに水が要らない時は止まってしまうことに不自然さを感じた。町の中の方が昔の風景がそのまま残っている。

齋藤：私たちには当たり前の風景だが、外から来た人は普通の山や川に行くと感動する。私も去年のまち歩きでは、立体で水路が流れているのを見た時には驚いた。水路は1951年には既にあり、元々は木で作られていたそう。梅花藻の生育に適しているのは水温15度だそうで、長井のすごいところは至る所に梅花藻が育っているところで、市内を美しい水が豊かに流れていることを表している。また、長井人は非常に穏やかであるというが、水争いがなかったところからも来ていると思う。水が豊富だっただけでなく、上手に分けて利用していた。そして川は高いところから低いところに流れているから、低い人のことを思いやって使っていたというのが、長井人の温かさや知恵と聞いたことがある。

長井では家を建てる時、小さい川が家の中を流れるように用水を通した造りになっていた。昔は水道がなかったから、ご飯を炊く時なども使っていた。長井の水は全国的にも珍しい超軟水。赤ちゃんの内臓に負担をかけないという18度の水は、ミルクや離乳食にも適している。「人のやさしさ、自然、水」、水は生きていくのに大事なこと。他に出て行くと改めて長井の水の美味しさを感じる。水道をひねれば普通に飲めるので、慣れてしまっていていない気がする。

⇒P3 に続きます。

## Contents

巻頭対談 古くて新しい長井 水の織りなす物語・・・	2	東北・夢の桜街道～桜の札所八十八カ所巡り～・・・	10
国際化したゴミ問題・・・	7	会員募集・・・	10
フォーラム活動報告・・・	9	フォーラム応援企業・団体・・・	11



事：子どもの頃から川や水が身近にあった長井では、1967年にあった羽越水害の記憶が残っている方も多くいます。今日本や世界で起こっている大きな災害にも活かせるような取り組みがあるのではないのでしょうか。

齋藤：高校生の頃、水害に遭い、すぐ目の前に水があふれていて見に行っただ。館町地区では、羽越水害の後、ファザードマップづくりと、昨年見直しが行われた。現地確認や、最上川が氾濫した場合の浸水予想が、町内の電柱に表示された。地域住民が中心となった見直しによって、避難経路や避難施設の改定もされた。数年前とは地域の情報も変わっている。現状に合わせての見直しはとても重要。

久保：今は近隣に誰が住んでいるのか、見えなくなっていて何かあった時を考えると不安になる。それをカバーするような普段の地域のイベントやコミュニティでの交流などの細やかな活動が大事で、意識的につないでいく事が必要なのだと思う。地域の中で助け合う、子どもを見守るという温かい気持ちが、防災の面でも生きてくる。



事：市民主体の様々な活動が活発だという印象を受けますが、舟運ルートの終着駅で、農業や農産物加工等の他、商業や工業も発展していた歴史ある町を守りたい、文化を次の世代に伝えたいという人が多いのでしょうか。

齋藤：たくましいが争いごとを好まない、柔軟に人の意見に耳を傾ける、というところがあると思うのだが、港で人の交流が盛んだったことも関係あるのではないかと。そして市民の中に文化を継承したいという気持ちが根付いているのではないかと。通勤の頃、国道287号線の白川橋から見た、最上川が流れていて西山が正面に広がる美しい風景が忘れられない。

久保：移動すると必ず、最上川がどこかで目に入る。「山形県の人、みんなどこかに自分の最上川の景色を持っている」という。川や山、皆の原風景があると思う。

最上川とのかかわりが非常に大きい長井市の中でも、宮・小出地区は江戸時代に最上川舟運の船着き場が設置された地区で、米沢藩の青苧蔵や上米蔵が置かれ、物資の集散地、商業地として栄えた場所。「最上川流域における長井の町場景観」は、重要文化的資産に認定されています。今も残る商家群や地割、水路等が作り出す景観は、市外の人から見ると独特で非常に美しく、感動します。フォーラムでは、最上川文化地域経済活性化、地域部会事業の一環として、桜を地域で維持管理する「桜守」の育成や、県内の美しい桜の名所を巡り、人々が交流しながら次世代に魅力を更に伝えて行く試みとして「桜巡り」を行っています。今年度は、やまがた長井観光局の協力を得て、「長井の町場景観と桜巡り研修」を実施。満開の桜の時期に合わせて、最上川堤防千本桜、薬師寺のしだれ桜を鑑賞し、国登録有形文化財山一醤油製造所や旧丸中横仲商店蔵群など景観を活かしたまちづくりを学びました。参加者は約6kmの道のりを歩きながら、大樋川と野呂川の流れが立体交差する水路、レトロな雰囲気を活かした今の地域づくり等、歴史と文化が交差する町並みを体感。懐かしい話にもたくさん花が咲き、楽しいまち歩きとなりました。

事：一昨年オープンした「道の駅川のみなと長井」は、特産物の販売、スタッフが常駐する観光案内、特産品を使った創作メニューを提供するフードコーナー等、

「かわ」と「まち」をつなぐ「へそ」として観光客だけでなく、地元の方も多く利用し、情報と人が行き交う、

まさに現代の港です。長井市は歴史ある祭りや様々なイベントがあり、道の駅ができたことによって、ますます行ってみたい場所になっています。祭りや、水辺の景観を活かした梅花藻ツアー等たくさんの方が楽しんでいます。これから期待する事などは。

久保：昔のにぎわいのように「人や物、文化が交流する場所」として多くの方が訪れている。できれば、そこに立つと足元から川とまちの関係が見えるような昔のまち並みを体感できるよう、再現したものもあればいいと思う。気軽に訪れることのできる場所だからこそ、本当はここに舟運文化の展示もあればいい。



事：長井のお祭りの中で花にちなんだものが多いのも特徴だと思いますが、あやめ公園や駅前をエリアとして、5年前から取り入れて行っているスポ GOMI 大会には、スポーツ少年団を中心として学童保育の活動、地元高校生、企業の方など多様な方々がまちをきれいにしたいと参加しています。その動きについてはどうでしょうか。

齋藤：最近報道等で河川の上流域からのゴミについて取り上げられるようになり、だいぶ意識が高まってきたと思う。川は上から下に流れるのは誰でもわかることなので、河川に入る前に道路でのゴミ拾いが重要な事、ゴミの分別の意味やゆくえについても併せて、小さい頃からわかっていたら、もっと意識しなくても自然にできるようになる。機械的に分けていると面倒くさい、という意識になる。燃えるからいいやということで使い捨てのものをいつまでも使い続けては解決されない。ゴミは海に急に現れたものではない。そこから子ども達と考えると。

久保：分別やゴミのことを考えると共に、1時間ゴミを拾うことできれいにするだけではなく、気が付くということは抱き合わせですごくいいイベントだと思う。なぜポイ捨てされるのか、考える。みんなでやるから効果が高い。活動している姿も広がるきっかけとなると思う。子ども会や学校等でもっと取り入れたり、一斉にやる日があればいい。

事：スポ GOMI 大会は、今年度初めて白鷹町でも2大会を行うなど、河川上流域にも広がりを見せています。その中から生まれてきたものの一つとして、昨今話題になっている「マイクロプラスチック」問題について、河川の上流部からアクションを起こすため、誰が見ても分かりやすい「紙芝居」を作る計画を進めています。これは、2011年から地域部会で制作している「最上川にまつわる紙芝居」の流れを汲むもので、白鷹町、長井市等これまで県内で5つの作品が生まれています。制作に向けて現状を知るために勉強会を行いました。

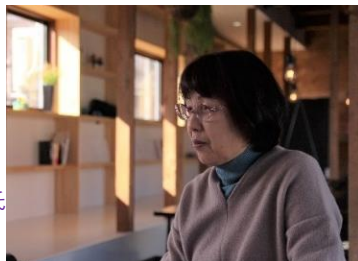


齋藤：ペットボトルを持っているのが当たり前世代、参加した高校生に聞いてみた。自分の暮らしていることと直結して考えられたようだ。ちょっとした小さなものが、道路に出ることでゴミになり、川に流れて海につながるものがわかれば、分別しているからいい、だけではなく、環境全体につなげていくことができると思う。

久保：生態系の変化、状況にも目を向けてほしい。白川流域でずっと活動をしているが、2年くらい前までハヨ(うぐい、はや)祭りを行っており、投網してハヨを川べりで焼いて食べていた。水質の変化やコクチバスの影響があると思うが、ハヨがいなくなり、祭りは現在行っていない。産卵に適した場所づくりも行っているが、小魚はブラックバスやコクチバスの外来魚に食べられてしまうことも含めて、様々な影響で繁殖できない環境となっているのだと思うので、外来魚を含めた外来種についての目撃情報などを県内で集めて、検討材料としていきたい。



久保道典氏



齋藤真知子氏

水辺のわらしっこ広場…最上川水系白川流域で、子どもたちの自然体験学習イベントを実施し、地域が一体となって活動をしている。  
レインボープラン…長井市では生ゴミを堆肥化し、農地に還元することで循環型社会の形成を目指している。食品消費者と農業者の距離を縮める「食の安全安心=レインボープラン特区」(構造改革特区)認定。

齋藤：環境や文化を守るために何が必要なのか、私たち消費者側、売る店側両方の意識を変えていかないといけない。自然の変化は、日々そこで暮らしている人が一番わかるはず。お店側も使い捨ての物をサービスだと言って提供する。その当たり前を変えるのは難しいが、マイクロプラスチック問題も流行で終わってしまわないよう、情報を共有しながら飽きずに継続していくことが大切。

フォーラムでは、地域の皆さんの声を聞きながら、市町村や地域、過去と未来をつないでいけるような取り組みをしていきたいと考えていますが、今日場所を提供して下さった「cafe dining SENN×タニタカフェ®」は、まさにそんな空間ではないでしょうか。



## オーナー岩瀬義和さん(食料品輸出業二四三屋社長)が語るカフェにまつわるストーリー。



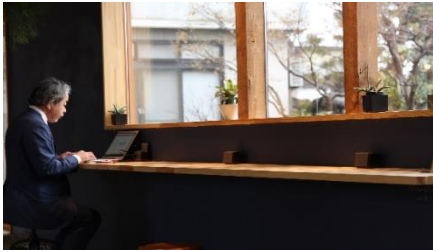
### cafe dining SENN×タニタカフェ®

営業時間 11:30~18:00 火曜日定休

- 最大 20 人が利用できる 1 階の飲食店スペースの活用 イベント等
- 2 階を利用したゲストハウス 1~4 人部屋を 4 室設置。

利用料金 3,000~7,000 円(素泊り)。

cafe、ゲストハウスとも問い合わせは 0238(87)1414



かつては長井高校の女子生徒向け下宿で、1992 年から実際に生徒さん達が利用しており、2015 年から空き家になっていた場所を、新たな交流地点として再生することを提案。

木造二階建ての建物の部屋割りや梁を活かし、1 階は“遊び”も“仕事”も同じ空間でできる自由なスタイルを目指し、コワーキングスペースを兼ねています。

また、健康総合企業「タニタ」が全国展開するタニタカフェ®の県内初のコラボ店として、「楽しさ」「心地よさ」といった「こころの健康づくり」につながるエッセンスをふんだんに採り入れた新しいスタイルのコンセプトカフェ。タニタの栄養士と共同開発したヘルシーメニューで、野菜をたくさん摂取できる 4 種のプレート料理や限定のスムージー、低糖質のチーズケーキなどのスイーツも充実。

岩瀬(敬称略)：元々長井市インキュベーションマネージャーで起業家支援なども行っており、下宿所を活用する方法を相談されたのがきっかけ。見た時にホテルにしたいと思い、使い方は提案して自分が運営することにした。民泊新法により、営業が 180 日のため、1 階をカフェとして営業し、泊まった人の食堂ではなくだれでも利用できる場所にした。なおかつ、タニタカフェ®としてブランド力をアップしている。タニタ食堂がカフェを作った時に食べに行って、美味しさに驚いた。山形はラーメン文化で、特にサラリーマンは食べる機会が多く、健康意識が高いとは言えない。山形には健康的な食材も多いし伝統文化としての食も豊か。せつかくならば長井の食材を使いたいと思い、タニタ食堂に提案した。ただ野菜を食べた方がいいというより質が大切。タニタカフェ®のメニューを取り入れることによって、より広い層に受け入れやすくなっている。



メニューは平成 31 年 3 月現在の物です。

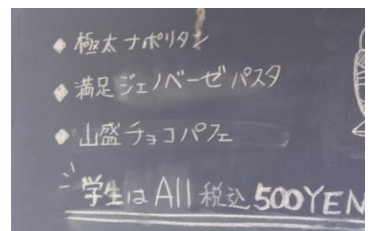


### 柔軟でかつ独創的、楽しくて誰もが参加しやすい物が多い取組みの数々は 地元の人のアイデアを活かしたもの

岩瀬：高校生の学習応援と来店のかっけづくりを兼ねた、「センパイからのメッセージ付きノート」を置いている。人生の“先輩”が英語用 B5 判ノート(250 円)を購入し、名前やメッセージを書いて店に預け、来店した生徒に無料提供。使い切ったらまた次のノートがもらえる仕組みになっている。既に 100 冊を超えている。学生はメニューオール 500 円で食べることができ、地元の高校生が多く利用している。



ホステルは、宿泊者同士のコミュニケーションが取りやすいと、外国人旅行者に人気のドミトリー形式の部屋も備えている。広域 DMO の中心となって長井市ががんばっており、これからはインバウンドで海外からのお客様も増えると予想される。「アートホテル」という名のように、アーティストのアトリエにも使ってもらえるスタイルとなっている。外国の方がカフェにいる時に、高校生が英語で話しかけたりという交流も生まれて欲しい。頑張っている地元、若者の支援の場づくりを行っている。



ホステルに描かれた作品を見たくて宿泊する人も。フランスやアメリカのアーティストの作品と、黒獅子祭りをリスペクトして描かれた大友昇平氏の絵などが、斬新でありながら親しみやすく、寛げる空間を作り出しています。



まるで青空を切り取ったような大きな窓からは、時折可愛いフラワー長井線が顔を見せてくれます。また、下宿の部屋を活かしながらリノベーションした、広く気持ちのいいカフェは、新しいのに落ち着く不思議な空間で、勉強にも、ゆったりと食事やお茶にも、様々なシチュエーションを包み込んでくれるような雰囲気のある場所。

新しい物を作るだけでなく、これまであったものを活用して、若い世代に価値を提供していくというのは、西欧に通じるところを感じます。今後山形県内、全国に広がり、空き家をもっと活用されれば、と期待されます。

長井の「井」は、水の集まるところを意味します。まちを流れる豊かな水のように、長井に新しい動きが起こり、人々や歴史、文化と混ざり合って、また新たな長井の歴史が作られていくことでしょう。古の時代から人々の暮らす土地を潤し、人々に恵みを与えてくれる水は、今日も人々の暮らしに寄り添って流れています。



## 今の長井に期待すること

美しい山形・最上川フォーラム副会長  
佐藤 五郎

空飛ぶ鳥になったつもりで長井を俯瞰的に眺めてみよう。米沢盆地の北側に、南北にすりと伸びた長井盆地、そして東西は花崗岩体からなる山地部で占められている。とくに西側は名峰・大朝日岳につらなる急峻な山並が迫り、置賜野川をはじめとする急流が花崗岩質の砂礫を大量に運んで分厚い扇状地地形を形成し母なる川・最上川に注いでいる。この景観こそが最上川流域でも屈指の美観を誇っている。さらに花崗岩に洗われた清浄無垢な水は長井盆地の地下に大量に賦存され、家庭の蛇口を回せばいつでも流れ出る。これこそが何にも換え難い宝であろう。宝の中で毎日を過ごしていると宝である事に気がつかなくなってしまう。市民一人一人がこのことに気付いて長井を訪れた人たちに接していけば何か動き出すであろう。新幹線や高速道路から外れ、軒を連ねる温泉旅館もない町であるが基本的で最も大切なものに包まれている。斎藤茂吉が大石田での疎開生活において毎日のように最上川の畔に座って病気に打ち勝ったように、長井の地に来て滔々と流れる最上川の畔に立って葉山連山（西山）を眺めれば生きることへの愛おしさも湧いて出よう。さらに長井には置賜白川に架かる「白川橋」「しらかわ大橋」、最上川に架かる「さくら大橋」「長井橋」、置賜野川に架かる「野川橋」「あかしあ橋」などの立派な橋が狭い範囲に集中している。長井市街地を挟むように点在する橋を巡って歩道から眺めれば、これまた其々の橋独特のパノラマ景観を味わうことができる。そして橋と橋の間に散在する歴史や文化に触れ、公園で一休みすれば明日への希望も膨らむことであろう。人口減少のなかで生き残りをかけて様々な事に取り組むといったような激しい文言が頻発し競争の激化が懸念される昨今、人は立ち止り自分を見つめる場を必要とするだろう。このような観点にたって長井がその一翼を担えるような住民と町が一体となったデザインが醸成されていくことが何よりも大切と思われる。その一つの方策として2015年9月の国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）を導入する事も一つの手であろう。一見何もないように見える場所にこそ、まだ触れられていない宝が眠っている事が多い。





皆さんは「マイハシ」をご存じでしょう。資源問題に関連した社会現象としてマスコミ等が取り上げていました。最近では「マイストロウ」が出てきました。「プラスチック ストロウ」の提供を止めた飲食店が話題になっています。

日常生活において安くて便利に使ってきたレジぶくろ、ペットボトル、発泡スチロールなどのプラスチック製品が紫外線などにより硬化し微細に分解されます。プラスチック製品が陸から川を経て海に流れ着く頃から目には見えないような細かなゴミになっています。

細くなったプラスチック「マイクロプラスチック」の環境負荷の問題が国際的規模において問題化し、国際会議において検討され始めました。クジラや亀などの体内に多くのプラスチックが見つかっています。また魚や貝にもマイクロプラスチックが入っており、これらを通じ人々の体内にも入ってきているとの調査報告もなされています。人体への悪影響はまだ未知の段階ですが、リスクがあるのは覚悟しなければならないと思います。

海洋プラスチックゴミ問題を巡る、日本政府の行動計画が策定されました。(朝日新聞報道) 行動計画は新たな汚染を生み出さないことを目標としています。

- 陸での回収徹底による流出防止
- 海での回収
- 環境に影響の少ない素材への転換と技術開発
- 途上国などの能力向上のための支援



プラゴミの海への流出は世界で年間 478 万~1,275 万トン、日本からは 2 万~6 万トンと推計されています。「汚れたプラスチック」が問題になっています。回収されても、再利用するためのコストが課題となって埋め立てや、途上国においては海洋投棄されているようです。「レジぶくろ」を「マイバック」に替えることでプラスチックの消費を減量することができたように、消費者行動により環境に優しいプラスチック利用への転換が必要になっています。

## 全国川ごみネットワークとの連携

フォーラムがこれまで行ってきた「美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」や「ゴミ発生源対策『捨てない・すてさせない in 最上川』」は、「陸での回収徹底による流出防止」に該当しています。県内全域を対象としていること、会員数が 3 千名を超えていること、県民・金融機関や多くの民間企業の他に、山形県庁・国の機関はじめ県内の全市町村が会員になっていることなどから「全国川ごみネットワーク」において、先駆的な取組と評価されています。

「全国川ごみネットワーク」には設立時より理事として私も参加しています。その活動を紹介しますと、川ゴミを拾うだけではない根本対策を推進することを目指し、これらの活動を通じ、全国的に川ゴミ削減の啓発を推進しています。

- 1) 水辺での簡易なゴミ調査を全国に呼びかけ、水辺のゴミへの関心を高め、調査結果を集計し発信する。
- 2) 既存の川ゴミマップをゴミ削減啓発ツールとして利活用できるための検討を行い取りまとめる。
- 3) 「川ごみサミット」を開催し、地域住民と多様なセクターが集い、川ゴミ対策の意見交換をおこなう。

活動の一環として 2018 年度において下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会（長野県）とともに主催となり「川ごみサミット in 下諏訪」を下諏訪町と共催で 11 月 24 日に開催しました。参加者 130 名と共に○諏訪湖の取組紹介、○環境学習の事例発表、○ディスカッションを行いました。

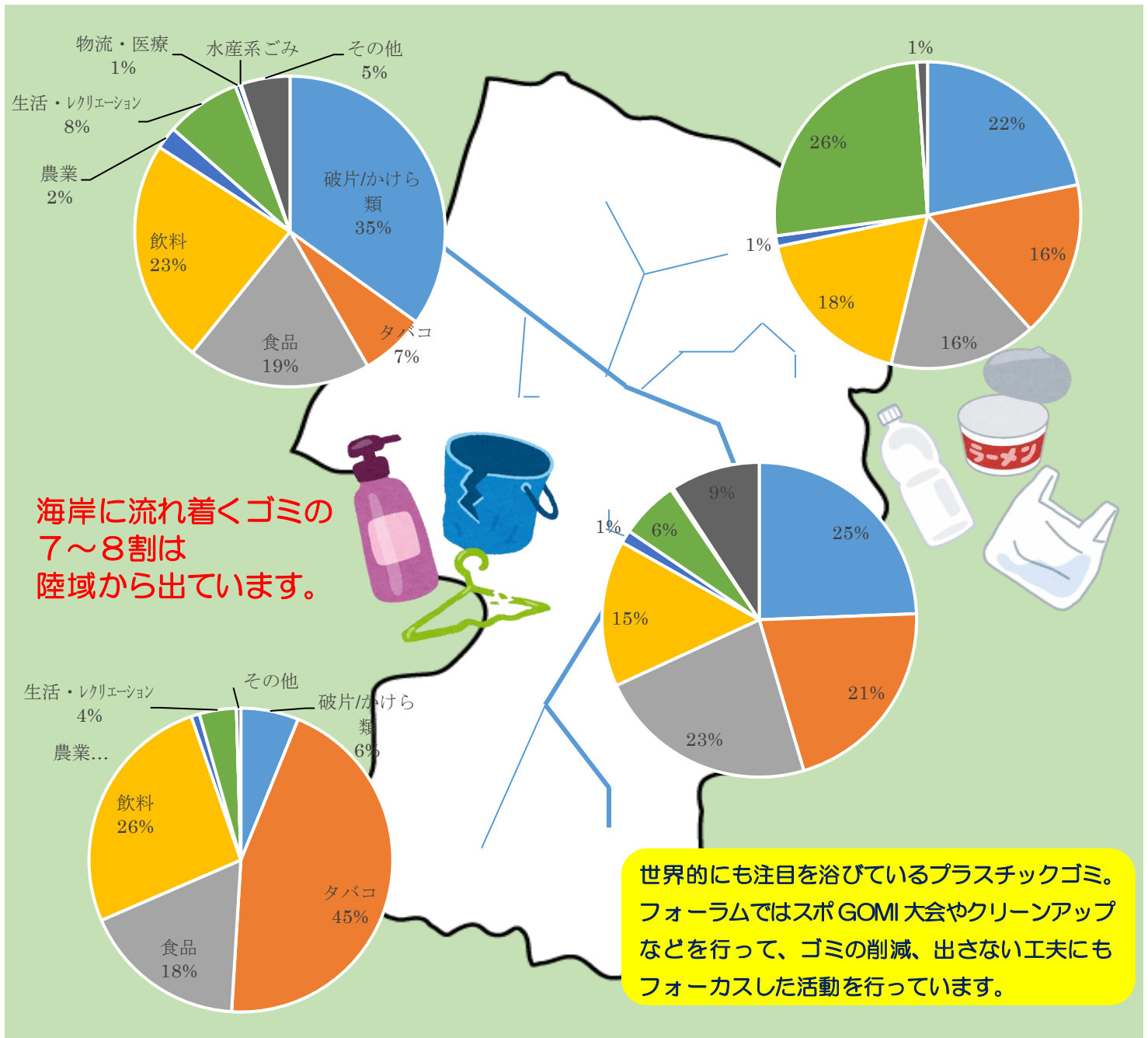
「川ごみサミット」においては、河川、海、湖などで活動する多くの団体関係者が全国から参加し、世代間交流、様々な立場からの意見交換を行うことができました。

市民団体ばかりでなく、企業、プラスチック関連の業界団体や省庁担当者からの話を聞き、共に連携し、課題解決に向かうことを確認することができました。また地域住民へ水辺のゴミの課題を伝え、地域での対策行動実践へと結びついています。

文責：柴田 洋雄

2018 年度「美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」には、65 団体、1,485 名が参加し、山形県内でゴミの回収調査を行いました。河川上流域から下流に、海に近づくにつれて、破片やかけら類の割合が多くなっています。

美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン…ゴミを拾うことをきっかけに、私たち自身がゴミを減らさなければ海ゴミ問題は解決しないことを参加者一人ひとりに理解してもらうことを目的としています。調査結果は、国際海岸クリーンアップ(International Coastal Cleanup:ICC)、全国川ごみネットワーク「水辺のごみ調査」にもデータを提供し、全国、国際レベルの研究データとしても活用されています。





# 美しい山形・最上川フォーラム活動紹介

活動の様子は、ホームページからご覧いただけます。  
イベント予定、参加者募集を facebook、Instagram でも発信中！

## 清流・環境対策部会



### スポ GOMI 大会

大会数 25/参加人数 1,864



### 美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン

実施団体 65/参加人数 1,485



ショッピングセンター・  
学校等での普及啓発



### 身近な川や水辺の健康診断

実施団体 82/調査箇所 244/参加人数 1,056

## 最上川文化・地域経済活性化部会



### 桜と周辺樹木の調査、診断

2市1町1団体



### 桜守養成講座

天童市、金山町、鶴岡市



### マップづくりのための調査会

金山町



## 地域部会

県内 4 つの地域部会では、地域のニーズや課題にフォーカスして、行政や地域団体と連携しながら事業を行っています。

### 置賜

長井の町場景観と桜巡り研修  
紙芝居作成のための現地視察・勉強会



### 最上

湧水地の標柱立て・湧水調査会  
桜守養成講座・桜の調査、マップづくり



### 村山

～夢の桜街道～写真と灯りの展示会  
桜の維持管理講習会



### 庄内

桜守養成講座  
内川学 10



全地域部会 スポ GOMI 開催、協力、身近な川や水辺の健康診断調査サポート

# 東北・夢の桜街道スタンプラリー



東北・夢の桜街道推進協議会、美しい多摩川フォーラム、当フォーラムでは、日本人が愛してやまない美しい“桜”を東北復興のシンボルに掲げ、東北6県の桜の名所を『東北・夢の桜街道～桜の札所八十八ヶ所』として選定し、「東北への桜旅」をPRして東北に足を運んでいただく観光振興による地域づくり運動を提唱・推進しています。札所にはスタンプを設置。各札所ごと、桜の種類もわかる美しいデザインです。

美しい桜に会いに、春は東北へ!

## 山形県内の桜の札所

- 樽口峠の一本桜 (小国町)
- 松が岬公園 (米沢市)
- 烏帽子山公園 (南陽市)
- 伊佐沢の久保桜 (長井市)
- 釜の越桜 (白鷹町)
- 月岡公園 (上山市)
- 西蔵王放牧場の大山桜 (山形市)
- 馬見ヶ崎さくらライン (山形市)
- 霞城公園 (山形市)
- 天童公園 (天童市)



- 最上公園 (新庄市)
- 松ヶ丘開墾場 (鶴岡市)
- 注連寺の七五三掛桜 (鶴岡市)
- 鶴岡公園 (鶴岡市)
- 温海川河畔 (鶴岡市)
- 日和山公園 (酒田市)
- 洗沢川の桜並木 (遊佐町)

## 桜の札所・番外編

- まほろばの緑道 (高島町)
- 田屋の一本桜 (金山町)

## 美しい山形・最上川フォーラム 会員募集中 みなさんの手で、美しい元気な山形に

美しい山形・最上川フォーラムでは、2部会、4地域部会に分かれ、美しい元気な山形を未来に残していくために県民活動をおこなっています。どなたでも入会でき、事業の提案、会議や活動へご参加いただけます。

### 清流・環境対策部会

- 身近な川や水辺の健康診断
- 美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン
- スポGOMI大会
- 海岸漂着物問題啓発

e.t.c

### 最上川文化・地域経済活性化部会

- 最上川夢の桜街道づくり
- 東日本大震災復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道～桜の札所八十八ヶ所巡り」
- 水辺や桜の写真展示・貸出し
- 地域おこしの紙芝居づくり

### 地域部会

- 置賜・村山・最上・庄内地域で地域と連携した活動を実施
- 文化伝承のための地域活性化に向けた講座、研修会の開催
- フォーラム事業のサポート

e.t.c

### 入会方法

- ①ホームページ内「入会案内」より申込み用紙をダウンロードし、必要事項を記入して投函してください。(切手は不要です)
  - ②ホームページを使っても申込みが難しい場合は、事務局までお問合せください。
- ホームページアドレス <http://www.mogamigawa.gr.jp/>

### 年会費

- 個人会員様 一口 1,000 円
- 法人・団体会員様 一口 3,000 円

### 問合せ 連絡先

美しい山形・最上川フォーラム事務局  
〒990-0041 山形市緑町 1-9-30 緑町会館  
TEL 023-666-3737 FAX 023-666-3738  
E-mail info@mogamigawa.gr.jp

協賛金融機関各支店にて毎年4～5月会員募集キャンペーンを実施しています。



# 私たちは、美しい山形・最上川フォーラムを応援しています。

## 協賛金融機関

山形銀行  
 荘内銀行  
 きらやか銀行  
 山形信用金庫  
 米沢信用金庫  
 鶴岡信用金庫  
 新庄信用金庫  
 北郡信用組合  
 山形中央信用組合  
 山形第一信用組合  
 JAバンク山形県

## 団体、法人、行政会員

アーキネット  
 秋葉商店  
 秋保建設  
 朝日測量設計事務所  
 アサヒビール山形支社  
 アドバンビル  
 安孫子会計ビジネスサービス  
 安孫子工務店  
 有馬館  
 ALSOK山形  
 イガラシ機械工業  
 池内熊治商店  
 池田内科医院  
 石川建設産業  
 稲毛工務店  
 井上精工  
 イベントプロデュースガッツ  
 羽州かみのやま桜の会  
 うろこ絵本店  
 エイコウ  
 エクス環境山形営業所  
 遠藤会計事務所  
 遠藤産業  
 遠藤土建工業  
 大江町商工会  
 大風印刷  
 太田建設  
 大沼  
 大場印刷  
 岡崎医療  
 萩野建設  
 小国ガスエネルギー  
 奥山経営センター  
 海鋒資材センター  
 花開瞭鈴木医院  
 カスタムロード  
 和美屋  
 葛麓運輸建設  
 カトウ衛生企業  
 神室工業  
 河嶋や金物店

川田酒店  
 環境管理センター  
 環境再生さくらぎの会  
 環境ネットやまがた  
 管製作所  
 菅藤学園  
 カンベ  
 杵屋本店  
 キムラ建築  
 協同組合山形流通団地  
 協立計装工業  
 きらやか銀行  
 くまがい  
 グリーンクアパーク  
 黒滝会  
黒滝展望公園・下山口マン街道の会  
 ケア・ワールド  
 ゲンジ蛸とカジカ蛙愛護会  
 公益のふるさと創り鶴岡  
 心のふるさと新井田川の会  
こころの宿一龍ホテルサンチェリー  
 コシカ  
 壽屋  
 コバヤシ機工  
 小松建設  
 小松ゴム商会  
 小松写真印刷  
 コマツ山形  
 近藤工業  
 今野紙工  
 蔵王警備保障  
 ザオー測量設計  
 寒河江印刷  
 寒河江川土地改良区  
 さがえ西村山農業協同組合  
 酒田商工会議所  
 サカタ理化学  
 櫻井建設  
 櫻田ポーリング  
 佐藤建設  
 佐藤税務会計事務所  
 佐藤松兵衛商店  
 さのや  
 三共開発  
 三光社  
 三郷堰土地改良区  
 三幸ソーイング  
 三和技術コンサルタント  
 三和フードサービス  
 JTB山形支店  
 Jes設計  
 シー・アイ・シー  
 シェルター  
 四季の住まい  
 慈心会井出眼科病院  
 シベール

商工組合中央金庫山形支店  
 庄司自動車工業  
 庄内環境保全協同組合  
 荘内銀行  
 庄内測量設計舎  
 菖蒲園  
 白鷹町観光開発  
 城西電工  
 新庄砕石工業所  
 新庄商工会議所  
 新庄信用金庫  
 真和商会  
 翠紅園  
 水睦会  
 菅野測量設計  
 菅原工務所  
 スズキ  
 スズキ印刷  
 鈴木製麩所  
 鈴木測量事務所  
 瀬野製作所  
 セブンズエレクトロ  
 仙英学園ゆりかご幼稚園  
 千成興業  
 千門町蛸の会  
 そば処吉亭  
 第一タクシー  
 高島電機  
 高梨製作所  
 高橋畜産食肉  
 高島町商工会  
 高実工務店  
 立谷川工業団地協同組合  
 田村技研工業  
 田村測量設計事務所  
 丹野  
 丹野こんにやく  
 千歳学童保育クラブ  
 中央清掃  
 (株)中央タクシー  
 中央タクシー(株)  
 チュチュ  
 つたや  
 土谷  
 鶴岡商工会議所  
 鶴岡信用金庫  
 鶴岡舟番所  
 ディティール・ギャラリー  
 テトラス  
 テレサイントーナショナル  
 出羽屋  
 電制  
 天童環境  
 天童商工会議所  
 天童ライオンズクラブ  
 でん六  
 東北医療機器  
 東北環境開発  
 東北公益文科大学  
 東北サイエンス  
 東北食糧  
 東北地域づくり協会山形支所  
 東北電化工業  
 東洋精機製作所  
 富樫管工建設  
 トブコン山形

ドモス  
 長井商工会議所  
 長岡造園  
 ナカムラ  
 那須建設  
 ナチ東北精工  
 名取精機  
 並木工務店  
 南風学園おおぞら幼稚園  
 西川企業  
 日興製作所  
 ニッコウ電機商会  
 日東ベスト  
 日本環境科学  
 日本地下水開発  
 農林中央金庫山形支店  
 野村證券山形支店  
 ハイスタッフ  
 ハイテックシステム  
 白蝶ビル  
 蜂谷建設  
 葉山建設  
 東沢ホタルの会  
東日本高速道路山形工事事務所  
 桧町アダプトの会  
 フィデアカード  
 福井建設  
 富士鉱油  
 藤庄印刷  
 ブナの森  
 フューメック  
 ブライダル大内  
 プロスパーマルイ  
 ボランティア・カムロ  
 本多アルミ  
 ホンダ井田モータース  
 本間利雄設計事務所  
 升川建設  
 松岡  
 丸市運送  
 丸江製作所  
 マルコウ環境  
 丸十大屋  
 丸好興建  
 水澤化学工業水沢工場  
南山形愛育会南山形すくすく保育園  
 ミヤマ金属  
 宮村産業開発  
 ムラヤマ  
 メカニック  
 メディカルプラザ山口医院  
 最上川土地改良区  
最上川美術館・真下慶治記念館  
 最上峡芭蕉ライン観光  
 最上振興  
 モンテディオ山形  
 門馬医院  
 八沢川せせらぎ公園愛護会  
 矢萩土建  
 やまがたEM環境ネットワーク  
 山形ガス  
 山形ガス管工  
 ヤマガタ共同  
 山形銀行  
 山形銀行県庁支店  
 山形経済同友会

山形県医師会  
 山形県印刷工業組合  
 山形県環境整備事業協同組合  
 山形県環境保全協議会  
 山形県観光物産協会  
 山形県企業振興公社  
山形県計量協会環境計量証明部会  
 山形県建設業協会  
 山形県砂防協会  
 山形県JAビジネス  
 山形県浄化槽工業協会  
 山形県商工会議所連合会  
 山形県商工会女性部連合会  
 山形県商工会連合会  
 山形県信用保証協会  
 山形県森林組合連合会  
 山形県水質保全協会  
 山形県水質保全協会青年部  
 山形県測量設計業協会  
 山形県治水協会  
山形県土地改良事業団体連合会  
山形県内水面漁業協同組合連合会  
山形県農業機械工業協同組合  
山形県農業協同組合中央会  
 山形県みどり推進機構  
 山形県理化学分析センター  
 山形故紙センター  
 山形酸素  
 山形商工会議所  
 山形信用金庫  
 山形タクシー  
 山形日産自動車  
 山形ひかりのくに社  
 山形南生活総合センター  
 山形冷暖  
 山形ロータリークラブ  
 山形ワシントンホテル  
 山喜建設  
 山岸板金工業所  
 山口の里づくり  
 山崎商事  
 ヤマザワ  
 ユーキセツサク  
 ユーシン不動産  
 遊学の森案内人会  
 鷹山会  
 米沢酒類販売  
 米沢商工会議所  
 米沢商工会議所女性会  
 米沢信用金庫  
 理研分析センター  
 ローマン  
 ワイエム技研  
 渡辺電気工事  
 渡辺螺子  
 山形県  
 県内35市町村  
国土交通省山形河川国道事務所  
国土交通省酒田河川国道事務所  
国土交通省新庄河川事務所  
国土交通省最上川ダム統合管理事務所  
林野庁東北森林管理局山形森林管理署  
 庄内森林管理署  
 山形森林管理署最上支署  
 平成30年12月現在  
 ※敬称略、順不同

美しい山形・最上川フォーラム 会員証

会員 No. \_\_\_\_\_

Name. \_\_\_\_\_

美しい山形・最上川フォーラムは、最上川をシンボルに美しい元気な山形づくり運動を進めています

2019 会員 No.は案内封筒に記載しております

# 美しい山形・ 最上川フォーラム

発行元 美しい山形・最上川フォーラム  
〒990-0041  
山形市緑町 1-9-30 緑町会館  
<http://www.mogamigawa.gr.jp/>